

E-LEARNING 便り from 四国

第8号



Index

2025年度 知プラe開講科目一覧	P1
四国のお城巡り	P4~P6
編集後記	P6



知プラ e 開講科目一覧

Opening course

前期16科目、後期43科目の
合計59科目を共同開講します。

NEW 新規開講科目
新規開講科目は計7科目です。



前期

提供大学	科目名	担当教員	単位	概要
徳島大学	徳島で暮らす・徳島で働くを考える	金西 計英	1	徳島県内の第一線で活躍するリーダーや県内高等教育機関のOB・OGを講師に迎えて、経験の中から生まれた確信や考え方を語ってもらい、みなさんに自らのキャリア形成や地域社会との共生について、これからの持続可能世界を生きる意味について主体的に考えてもらう。
	数理科学の世界	金西 計英	2	講義は一回ごとにテーマを決めて、原則一回完結になります。内容としては、数学の歴史、古代から近代文明に見ることの出来る数学の様相(西洋だけでなく江戸時代や中国の数学を含む)、美術で使われる数学理論、数学を取り扱った文学、音楽理論に現れる数学の理論、数学者の人間像(古代から現代まで)、占星術で使われる数学などで、レベル的には高校数学の内容で充分理解できるものです。
鳴門教育大学	学校とICT教育	竹口 幸志	1	児童生徒の情報行動の現状や学校におけるICT活用の状況について概観する。また、小学校、中学校、高等学校をはじめとした学校教育における情報教育の現状についても概説する。総じて、児童生徒のICT活用の現状を踏まえ、学校における情報教育とICT活用の今後の方向性について考える。
	絵本の研究	余郷 裕次 ほか	2	まず、主に絵本の絵について、我々が普段あまり意識しない部分、1. フロントリティ(まるい大きな正面顔) 2. 画面構成 3. 色彩 4. 絵本モニターについて分析する。次に、絵本の読み聞かせにおける 1. 右脳・左脳の関わり 2. 育児語 motheries 3. スキンシップ 4. 視覚的共同注視について分析する。
	初等中等教育における情報活用能力育成	長井 映雄	1	平成 29・30 年に告示された学習指導要領において、情報活用能力は言語能力、問題発見・解決能力と並ぶ「学習の基盤となる資質・能力」の一つと位置付けられた。本講義では、小・中・高等学校の各学校段階で育成される情報活用能力を体系的に整理するとともに、学校における情報教育の現状等についても概説する。
香川大学	香川の文化と歴史	藤本 憲市	1	香川の地域特性のひとつとして、瀬戸内海とこれにまつわる生活環境や文化を挙げることができる。本科目では、瀬戸内海地域に焦点を絞り、歴史と生活・習俗について概観する。毎回、各分野・地域の専門家が文化と歴史にまつわるトピックについて講義をおこなう形式ですすめていく。
	四国の歴史と文化 その1 歴史編	守田 逸人 ほか	1	四国の歴史・文化について講義する。各回では、四国で活躍した人々の事績や、都と四国との結びつき、四国に残された遺跡・史跡など、四国の歴史に関わるテーマを取り上げる。
	四国の歴史と文化 その2 文化編	渡邊 史郎 ほか	1	四国の文化について講義する。各回では、四国に関わる文学作品などに関わるテーマを取り上げる。
	コンピュータと教育 その1	林 敏浩	1	近年、情報通信技術 (ICT) を活用した教育が様々な教育機関で実施されるようになってきた。また、予習・復習などの自宅等における学習者主体の学習にもICTの利用が増えてきている。本講義ではこのような情報通信技術 (ICT) を活用した教育・学習、それらを支える教育・学習システムについて講義する。なお、7,8回目は教育システム研究などの動向により予定と異なる内容になる場合がある。
	コンピュータと教育 その2	林 敏浩	1	近年、情報通信技術 (ICT) を活用した教育が様々な教育機関で実施されるようになってきた。また、予習・復習などの自宅等における学習者主体の学習にもICTの利用が増えてきている。本講義ではこのような情報通信技術 (ICT) を活用した教育・学習、それらを支える教育・学習システムについて講義する。
	人工魚礁の開発と環境保全	末永 慶寛	1	我が国沿岸海域における水産資源生産力の向上のための施設として、様々な人工魚礁が開発されてきた。本講義では、人工魚礁開発の歴史と人工魚礁の有すべき水産資源生産力向上および環境改善機能について、実海域における具体例を挙げながら解説する。
高知大学	アクティブラーニング入門	高畑 貴志	1	新しい小・中学校(2019年度告示) および、高等学校(2020年度告示)の学習指導要領には、知識理解の質を高め資質・能力を育むため、主体的・対話的で深い学びというキーワードでアクティブラーニングが取られました。この授業では、いくつかのアクティブラーニングのパターンを教材化したものです。この教材を受講者がアクティブ(能動的)に学んでアクティブラーナーとなり、将来教員になって、あるいは就職した後教育係となって、子供の親となって、アクティブラーニングの実践ができるようになることを目指しています。
	海洋地球科学概論	村山 雅史	2	太陽系惑星で唯一存在する海洋の成り立ちと役割について学び、地球規模での様々な物質循環や気候変動について理解する。
	マンガと社会	岩崎 保道	2	近年、マンガは文化や産業の振興に一定の役割を果たすなど、社会的に影響を持つようになり、海外にもマンガ文化が発信され注目されています。このような背景の下、マンガに関わる政策的な取り組みや、マンガを地域の活性化に活用するなど、多種多様な活動が盛んに行われています。一方、マンガに関わる教育研究が深化しており、学術研究の分野を築いています。当授業は、このような身近な存在であるマンガの歴史的な発展をはじめ、文化・産業面での動向や地域振興への活用状況などを解説します。また、高知県が多くのマンガ家を輩出してきたことや、マンガに関わる取り組みの先進県であることを踏まえ、四国4県のマンガ事情を紹介します。以上の趣旨により、具体的なテーマとして「マンガの歴史」「マンガを活用した地域振興」「マンガに関わる学術研究」「マンガ産業の動向」「高知県、愛媛県、香川県、徳島県に関わるマンガ家」などを取り上げます。
	NEW 体験的に学ぶ生成AI	高畑 貴志	1	ChatGPTに代表される生成AIをとにかく使ってみることで、その性能だけでなく現時点での限界や注意点を体験的に学習します。日々進化する生成AIに対応するため、最新の情報を自ら取得して活用する経験を積みみます。それに伴い、情報の正確さや信憑性について理解を深めます。また、生成AIの基本的な仕組みや、生成AIを使用する際の注意点を学びます。生成AIの理解や活用に役立つ情報と、各自が取り組んだ活動の成果を受講生間で共有し、生成AIに関する知識を広げます。これらの経験をもとに、生成AIを自分のために活用できるようになることを目指します。
	NEW 就職活動の基本と対策	谷口 ちさ	1	多くの学生にとって初めての経験となる就職活動。早めに内定を取るコツは早めに動くこと、そして納得のいく就職活動にするコツはたくさん動くことです。本授業では、就職活動のコツとポイントをできる限りシンプルにお伝えします。また、そのまま就職活動に活用できる個人ワークを実施いただきます。eラーニングの利点として、個人ワークに納得のいくまで取り組むことができます。

後期

提供大学	科目名	担当教員	単位	概要
徳島大学	知の探訪	金西 計英	2	大学における学習について、主体的に学習を進める態度を身につける。大学における「研究する」ということに関し、自らの言葉で説明できるようになることを目指す。
	モラエスの徳島 ～グローバリズムと異邦人～	金西 計英	2	ヴェンセスラウ・デ・モラエスの生涯とその作品を眺め、ゆかりの場所を紹介しながら、理解を深め、同時に異文化理解というものを考える。
	日本におけるドイツ兵捕虜 1914-1920 一四国の収容所を中心に	金西 計英	2	第一次世界大戦における日本の青島攻略により、ドイツ兵などの捕虜約5000人が日本各地に抑留された。とりわけ徳島県にあった板東俘虜収容所では、捕虜たちの文化上・経済上の諸活動や地元住民との交流がさかんにおこなわれ、彼らによってベートーヴェンの第九交響曲全曲が日本ではじめて演奏された。この講義では、当時の日本各地の収容所一特に四国の収容所における捕虜の活動や日本側の対応などについて、最近発見された資料なども用いてさまざまな事実を紹介する。また、これについて、日独交流史や捕虜待遇の歴史というより広いコンテキストの中で、多面的な考察の視点を提供したい。そのため、時として担当教員以外の先生や関係者にも講義やインタビューによるお話をさせていただいたり、関連の場所を訪れたりする。
	現代科学と研究倫理	金西 計英	2	本授業では、現代社会における科学技術に目を向けることから始める。現在の生活は、科学技術の成果によって成り立つことから、研究とは何かについて考える。現代の研究は、多岐にわたることから、多様な研究分野に触れ、いろいろな研究フィールドに内在する倫理上の問題を、具体的な事例に基づき考える。また、企業との関わりについても触れる。
	大学の知の活用	山本 光治	2	本講義では、大学の知の活用に必要な基礎知識を紹介した上で、四国地域における具体的な大学の知の活用に関する取り組みを紹介する。
	大学教育を考える	吉田 博	2	大学教育に関する14のトピックについて、関連する知識を得るとともに、各トピックに関連する問題点を考えることが本授業の目的です。
	数理学の展開	金西 計英	2	数理学の展開は前期の数理学の世界を受けた講義ですが、前期と同じく一回ごとにテーマを決めて、原則一回完結の講義を行いますので、内容としては数理学の世界とは独立しています。ですので本講義に於いては数理学の世界を事前に受講する必要はありません。数理学の展開では数理学の世界よりも数学の比重が少し大きい話題を中心に構成がされています。講義は数学の歴史、数学の応用について、文学、美術や音楽に関連した数学理論、数学者の人間像などについて行いますが、レベル的には数理学の世界と同じく高校数学の内容で充分理解できるものです。
	文化心理学入門	金西 計英	1	心理学のなかでも、ヒトの心と道具、社会、歴史との関連に着目する「文化心理学」あるいは「社会・文化・歴史的アプローチ」と呼ばれる理論群について、具体的な研究事例を挙げながら講義する。また、文化心理学の観点から、教育実践や学習支援・発達支援実践における指導者・支援者の役割について考察する。
	徳島を考える	豊田 哲也	1	徳島県の自然環境や歴史、文化、産業に関するテーマを様々な側面から取り上げて講義する。具体的には、吉野川の地形環境、藍産業の歴史、特産地の形成などの一端を紹介する。
 学びをデザインする ：インストラクショナルデザイン入門	田巻 公貴	2	みなさんは、これまで様々な学びの場を経験してきたと思います。その中で、この授業は面白いもつと学びたいと感じたことはあるでしょうか。そして、どうしてよと感じたのでしょうか。本授業では、よい学びの場を自ら設計できるようにすることを目指します。 インストラクショナルデザイン (Instructional Design: ID) とは、教育活動の効果・効率・魅力を高めるための手法を集大成したモデルや研究分野、またそれらを用いて学習支援環境を実現するプロセスを指します。本授業では、学習理論の変遷から、授業設計の方法、学習者への動機づけ、評価方法など、IDの基本的な理論を扱います。さらに、ICTやAIなどのテクノロジーを活用した授業設計や、新たな学びに対応し続けるために必要な要素についても探求します。そして、学びをもとに、授業・研修・ワークショップ等を実際設計していきます。本授業を通して、みなさんが設計する学びの場が、学習者の成長を支援するための授業設計となることを目指します。	
鳴門教育大学	デジタルものづくり入門	宮下 晃一	1	3Dプリンタを使うと、誰でも簡単にものづくりができます。3Dプリンタだけでなく、現在では様々な工作機械がコンピュータ制御されて自動加工を行っている。それらの機械に必要なものはデジタル化された設計図データ。設計データはインターネットを介して瞬時にどこにでも送信でき、ダウンロードでき、コピーでき、自分の必要な設計図に描きかえることが簡単にできる。つまり誰でも自分の発想するものを3Dプリンタで作ることができ、必要があれば世界中の工作機械を使って本格的に生産することもできる。このようなデジタルものづくりの世界を紹介するとともに、3D-CADを使った簡単な設計の演習を行う。
	英語文学・英語学探訪	森山 倭成 ほか	1	(英語文学) 英米詩の形式ごとに取り扱う作品を選び、授業を進める(第4回を除く)。小説とは異なる文学形式で書かれた作品を鑑賞する意義を学ぶ。(英語学) 自然言語の共通性や変化についてのトピックを通して、英語学探究の一端を紹介する。英語と日本語の比較も行う。
	 高齢者福祉と地域	畠山 輝雄	1	超高齢化社会を迎えた日本における高齢者福祉について、高齢化の状況(高齢人口分布)やその地域差、制度的解説(介護保険制度、地域包括ケアシステムなど)を踏まえ、受け皿となる地域での対応を考える。高齢者福祉に関する授業ではあるが、学問的背景は地理学であるため、地図をはじめとした図表類の分析・考察により、高齢者福祉に関わる課題を検討し、将来展望を学生にはしてもらいたい。
香川大学	情報のいろは	林 敏浩 ほか	2	情報は我々の生活を考える上で必ず出てくるキーワードである。我々が扱っている情報とはどのようなものなのか、本講義では情報を様々な視点から俯瞰してその特徴について講義する。
	地域コンテンツと知財管理 その1	林 敏浩 ほか	1	地域コンテンツを紹介しながら、知的財産管理の基礎的知識について講義する。各回では発明やブランドの保護といった知財管理の基礎的な事項についてとりあげる。
	地域コンテンツと知財管理 その2	林 敏浩 ほか	1	地域コンテンツを紹介しながら、知的財産管理の基礎的知識について講義する。各回ではインターネット時代におけるコンテンツやデザインの保護といった知財管理の基礎的な事項についてとりあげる。
	香川を学ぶ	藤本 憲市 ほか	1	香川県に関することを多視的な側面から取り上げて講義する。具体的には、四国遍路、栗林公園、伝統食、離島、及び水問題の一端を紹介する。
	四国の自然環境と防災 その1	寺尾 徹 ほか	1	四国に学び生活しているが、本当に四国のことを知っていると言えるだろうか。何気なく見逃している四国の自然のすがたを科学することで見てくる、驚くような自然環境の仕組みを探る旅に出よう。地形が物語る壮大な四国形成史のドラマ。豪雨地帯と乾燥地帯の同居する島に生きる人々の水資源を求めると知恵のかずかず。瀬戸内の自然環境の魅力と里海再生のとどろき。21世紀の持続可能な四国を展望するための視点の数々を提供する講義群である。
	四国の自然環境と防災 その2	寺尾 徹 ほか	1	四国に学び生活しているが、本当に四国のことを知っていると言えるだろうか。何気なく見逃している四国の自然のすがたを科学することで見てくる、驚くような自然環境の仕組みを探る旅に出よう。地球最大級のプレート境界型地震・東南海・南海地震の危険が迫る太平洋岸。それとたたかおうと立ち上がる地域の力。自然の営みと人間の持続可能な関わり方の新たな模索。21世紀の持続可能な四国を展望するための視点の数々を提供する講義群である。
	 四国の経済・産業	林 敏浩	1	四国には多くの特色ある企業がある。本授業では四国に拠点を持つ企業から提供いただいたコンテンツを活用して、そのような企業について学習する。さらに、SDGsなどの視点なども含み四国(さらには日本や海外へのグローバルな展開も含む)の経済・産業に対してどのように貢献しているか深く理解できるよう講義する。
	高度情報化社会の歩き方	後藤田 中 ほか	1	高度情報化に伴い、我々の身の回りの社会環境は、益々創造的で豊かになっている。AIやIoTといったテクノロジーが進化し、我々の生活に溶け込み、“便利な”サービスの根幹をなし始めている。一方で我々の生活が豊かになる反面、見落としがちな諸問題も生まれ始めている。この授業では、高度情報化社会に伴う我々の社会環境における現在、そして今後の予測に対し、光と影、それぞれの一端を紹介し、人と情報がどのように接すれば、より豊かな生活を実現できるか学ぶ。
	データ活用と オープンイノベーションで創る 未来のまちづくり	米谷 雄介	1	スマートシティーは新たなまちづくりのモデルである。従来のインフラ中心からICT・IoTに基づくデータ活用中心、言い換えるとハードウェア/サブライヤ中心からソフトウェア/ユーザー中心のまちづくりへの転換である。この新たなまちづくりのモデルの特徴は、異業種・異分野の協働を基本(分野横断型)とし、社会課題の解決を中心に据え(課題解決型)、サービスの利用実績によりサービスは進化していき(進化型)として、自分たちの使う共サービスは自分たちで創るというDIY思想(市民中心設計)となっている。近年様々な基礎自治体においてスマートシティーに向けた動きがあるが、スマートシティーの推進を担う人材の育成が課題となっている。そこで、本授業は、スマートシティーの推進に必要な素養の獲得を支援する。受講者は、データ活用技術やオープンイノベーションの考え方を知り、活用することを体験する。香川におけるケーススタディを通じて自分たちの地域のあり方を見直し、地域の課題解決に資するデータ活用サービスを考案する態度を獲得する。

後期

提供大学	科目名	担当教員	単位	概要
香川大学	データサイエンスを活用した防災・危機管理	野々村 敦子	1	日本は地震や台風など大きな自然災害による被害を受けている。環境変化により従来になく大規模自然災害が発生する可能性が高まり、さらには社会システムの高度化・複雑化・国際化にともない、これまでになく災害が発生する危険性も増大している。いま、自然・人為的な災害に対応可能なレジリエント(しなやか)な社会の構築が求められている。本講義では、自然災害の軽減を念頭にデータサイエンスによる防災・危機管理のあり方と、地域における災害に対する安全・安心について担当教員がそれぞれの専門分野から説明する。
	レジリエントな社会の構築とコンピューターシミュレーション	岡崎 慎一郎	1	コンピューターシミュレーションは、「第3の科学」とも言われ、自然科学、工学、経済学、社会科学における理論・システムを数理モデルで表現し、コンピュータを用いて仮想実験や事象予測を行う技術である。今日では、製造業における工業製品の設計や新規材料の開発、自然現象の解明による災害対策、社会インフラ整備のための構造物設計・安全評価、金融・ビジネスにおけるマーケティングなど多様な分野において欠かすことができない。とりわけ、ビッグデータとAIなどの数理技術との融合により、製品の設計・製造プロセスの最適化、公共インフラの維持と保安水準の向上、津波・地震等の災害予測精度の向上、設備かつ環境性の高い電力・エネルギー製造と供給、テレメド・医療・予防サービス普及による医療費削減など、幅広い分野において新しい価値を創造することから期待されている。本講義では、レジリエントな(強靱化)社会構築におけるコンピューターシミュレーション活用事例を挙げ、その重要性について担当教員がそれぞれの専門分野の立場から説明する。
	災害とデータサイエンス	石塚 正秀	1	防災に活用できる科学的なデータとしては、災害に関するデータとそれを観測するテクノロジーについて、災害前(災害が起こっていない日常の時点と、災害が起こる直前)と災害後(直後)としてクラウド(復旧が求められる事後)という2つのステージでの議論が重要である。「災害前」としては、例えば、気象データなどは、雨量や温度、湿度、気圧などのデータが各地の気象観測所集められ、また人工衛星から、可視光線、赤外線、電波などのセンサーを使って地表や地中を観測しデータが収集されている。このようにローカルからワールドワイドにいたる様々なデータを活用し、各種の災害情報を作成され、防災や減災に役立てられる。「災害後」としては、被災地に近い定点観測地点や衛星からのデータ、そして現場周辺のユーザーが発信しているデータなどが避難等に重要である。また、オープンデータの活用によって、国や自治体等と住民が連携しながら二次災害の減災に寄与することもできる。本講義では、こうした「災害」に係るデータの活用方法について担当教員がそれぞれの専門分野から説明する。
愛媛大学	タンパク質で生命を斬る	澤崎 達也	2	一般的にタンパク質というと、食物等に含まれるものが知られており、人の健康を維持するために摂取していく栄養素という印象を持つでしょう。実は、タンパク質にはそれ以外にも、大きな人の生命の維持という重要な役目も担っており、このタンパク質の役割を理解すると、これまでは単なる「なぞ」であったものが、より理論的に説明できることに気づくはずです。本科目は愛媛大学プロテオミクスセンターに所属する教員が提供する科目であり、最先端のタンパク質に関する研究に触れながら、タンパク質の力と魅力について伝えていきます。タンパク質をよりもっと身近に感じ、科学の魅力への入り口でもあります。みなさんと議論を展開できることを期待しています。
	ユーラシア大陸における人と金属生産の関わり	村上 恭通	1	今から約10000年前、西アジアにおいて自然銅が利用されるようになり、人は金属の価値に触れることとなりました。その後、鉱石を製錬して銅を得るまでに数千年、さらに鉄を製錬するまでに数千年と、長い時間をかけて古代人は金属を生活の中に取り入れるようになりました。その過程で金属の技術、価値は大きく変わっていきます。また西アジアからユーラシア草原地帯を経由して北アジアやわれわれが生活する東アジアに金属が到達するまで、その技術や価値はまた大きく変わりました。金属の技術や利用法は地域の文化や環境に応じて多様に展開したのです。発掘によって金属から現れたものを対象としながら、金属の技術や利用のあり方を通じて、ユーラシア大陸のダイナミックな歴史をみなさんと味わうことができると思います。
	大学生のための『安全・安心』の基礎講座	伊藤 和貴	2	安心とはどういう状態であろうか。少し深く考えると安心できる要素は人によって異なることが判る。この講義では、全ての人が安心して暮らせるために、その根本となる安全と健康について、個人としてできることや組織として管理する時の注意などについて、全15回を通して基礎的な知識を習得することを目標とする。
	太陽光利用型植物工場における知能的農作物生産	藤内 直道	1	太陽光植物工場は、太陽光エネルギーを最大限に活用して大規模な農作物生産を行う施設であり、気温・湿度・CO ₂ ・光強度などの様々な環境要因を制御することで4定(定時・定量・定品質・定価格)の農作物生産を実現します。本講義では、太陽光植物工場における知能的農作物生産を支えるスピーキング・プラント・アプローチ技術(植物診断に基づいた環境制御)をはじめ、環境制御の基礎となる気温・湿度および暖房、植物の最も重要な環境応答である光合成と蒸散について学びます。
	飛行機はなぜ飛ぶのか	岩本 幸治	1	まず、世界と日本で飛行機がどのように生まれたかを説明して先人の想像力や洞察力、工夫を見習う。その後、揚力や抗力といった飛行機にかかる力がどのように発生するのかを学び、有人飛行では不可欠な安定性について考える。これらの知識を取り入れて、紙飛行機を作って飛ばしてみることを計画している。
	昆虫と環境	吉富 博之	1	昆虫は地上のありとあらゆる環境に進出し繁栄しているグループで、身近に目にすることも多いと思います。昆虫類はこれまでに知られている種だけでも約10万種いて、実際には50万種はいるだろうと考えられているくらい種数が多く、全動物の種数のうち80%以上を占めるといわれています。本科目では、このように多様な昆虫についてその特徴を理解し、どうして多様性が増大し得たのかを考えます。そして、その多様性が現在の日本でどのような状態にあるのかを知り、私たちの周りの自然や環境について考えるきっかけとします。
	アカデミック・プレゼンテーション(PowerPoint編)	仲道 雅輝	1	「伝わるプレゼンテーション」をすることで、分かりやすく効果的な研究発表を行うことができるようになることを目指します。本授業では、プレゼンテーションソフトMicrosoft Office PowerPointを用いて、「伝わるプレゼンテーション」を行うために、スライド修正の実践演習を交えながら必要な技術を修得します。
	インドネシアの文化と会話	島上 宗子	1	世界最大の島嶼国家であり、多様な民族からなるインドネシアは、日本とも歴史的・経済的に深いつながりをもっている。インドネシア語の初歩的な会話と基本文法を、インドネシアの習慣や文化を交えながら学ぶことで、インドネシアの言語と文化に対する理解を深める。
	私たちの生活と材料	小林 千悟	1	私たちの生活の中で利用されている様々な機能を持った材料について紹介します。それら材料の開発の経緯や要求される特性をいかに引き出すかなどについて説明します。また、資源・環境・エネルギーの点で循環型社会を構築するために不可欠な機能材料についても解説します。何気なく使っている製品にも様々な機能を持った材料が活用されていることを知ってもらいたいと思います。
	身の回りの放射線	岡野 聡	1	現在われわれの身の回りには産業機器、エネルギー、安全管理、医療・福祉などの分野で放射線を利用した様々な技術が使われています。しかしながら、われわれは放射線について、どのくらい理解しているのでしょうか。放射線とはいったい何。なぜ危険なのか。安全に利用する手法はあるのか?など、科学としてきちんと理解している人は少ないのではないのでしょうか?そこで、身の回りにおける放射線について基本的な性質と安全に利用するための方法を学びます。
和算の世界	河村 泰之	1	和算とは西洋の数学が入ってくるまでの日本の数学、特に江戸時代に普及・発展した日本の数学のことをいいます。当時は、和算を楽しむ人が数学の問題を算額とよばれる絵馬にして神社・仏閣に奉納する習慣がありました。愛媛県にも多数の算額が残されています。この授業では和算に関して、その歴史、計算の道具、図形公式、算額に記された図形問題などを学びます。	
研究倫理	裏 和宏	1	卒業論文作成や将来研究者・科学者になる人だけでなく、科学技術を利用して生活する私たちが持っていなければならない倫理観とは何かについて考え学ぶ。我々の生活は、科学技術の成果の上に成り立っており、科学技術が社会に及ぼす影響は計り知れないほど大きい。科学技術の健全な発展のために必要な心得についても触れる。	
高知大学	インタフェースデザイン概論	三好 康夫	1	本授業では、ヒューマンインタフェースの概念や人間の特性、情報システムの使いやすさ等について概説し、主にソフトウェアのユーザインタフェース設計手法について言及する。情報システム等の使いやすさの論理的な評価方法や、使いやすさを意識したGUI設計の考え方を学ぶ。
	キャリアで活かすITリテラシー	高畑 貴志	1	ITパスポートの教科書に沿って、以下の要領でITパスポートで求められる知識を順に身に付けていきます。 ・まず教科書で、ITパスポートに必要とされる知識を学習してください。 ・重要なポイントを説明文に起こしてみよう。説明文のうち、具体的に重要な事柄を5~10個選んでレポートとして提出してもらいます。 ・その上で、オンラインで公開されているITパスポートの過去問に取り組みすることで、学習した内容を確認してください。 ・2回の中間試験をコース上で受験してください。期末試験をコース上で受験してください。
	業務効率化のためのIT活用入門	高畑 貴志	1	日々の業務における「ひとつひとつでは単純な処理が大量かつ頻りに発生する状況」を想定し、IT技術を用いた半自動化により業務を効率よく処理する技法を身に付けます。このような処理の具体的な例を挙げます(授業で学ばず、短い時間でできるようにします)。 ・複数の名簿リストを統合し、重複をなくして整える。 ・多岐選択単一回答式のアンケートを、問題数に関係なく一定の時間で集計する。 ・複数のグラフに、同一の複雑な書式を、各グラフにつき一キーで適用する。 ・項目名とURLの対応表から、webページに貼れるハイパーリンク付きの項目名一覧を生成する。 ・別表を基に、複数のファイルの名前を一括して変更する。 ・項目名とURLの対応表から、webページに貼れるハイパーリンク付きの項目名一覧を生成する。 ・表形式のデータを、属性の値ごとに集計する。 ・表形式のデータから、特定の条件に該当するものを抽出する。 手軽に活用できる。Microsoft Excelを中心に「プログラミング」まで踏み込まない範囲の技法を扱います。また、大学が所在する地域に関する統計データを扱うことで、地元の地域に対する理解を深めます。
	NPOと大学の経営	岩崎 保道	2	当授業は、NPO(非営利組織)の社会的役割及び存在意義を学ぶとともに、学校法人、医療法人、社会福祉法人、NPO法人など各分野の概要や役割(経営環境、特徴)について四国の状況を含めて解説します。また、NPOの一つである大学の基本的機能(教育研究、社会貢献)及び社会的使命を学ぶとともに、大学がどのような仕組みのもとで事業を展開しているのか明らかにして大学の事業活動を支える、経営管理や組織、財務などの業務内容を解説します。 以上を踏まえ、各テーマ「NPO(非営利組織)の社会的役割」「NPO(非営利組織)の各分野における経営環境や社会的役割、特徴」「フィランソロピーとソーシャルアントレプレナー」「大学の基本的機能」「大学と地域の連携」「人的資源の能力開発」「大学発ベンチャー」などを取り上げます。 授業方法は動画の視聴を基本として、教科書を使用しながら説明します。
	 発達障害児者の理解と支援	高橋 由子	1	発達障害児者について幼児期から成人にかけてのアセスメントと支援法について講義を行います。
 アンケート調査法入門	寺田 悠希	1	社会調査法のうち、アンケート調査法について調査の企画・設計・データ収集・分析・結果報告という一連のプロセスについて実践しながら学びます。特に、近年利用されることの多いウェブアンケート調査が実施できるように演習を行います。あわせてアンケート調査の読み取り方についても学び、リサーチ・リテラシーを身につけます。	

ChatGPTさんにお力を借りて、四国お城巡りのプランを立ててみました。



高松城天守台跡

四国のお城巡りは魅力的な歴史旅行になりますね！以下のプランは効率よくお城を巡るため、地域ごとにまとめた順路です。移動手段は車、スタート地点は徳島市と仮定していますが、公共交通機関を利用する場合は調整が必要です。

1日目(徳島エリア)

① 徳島城跡 (滞在:1時間)

江戸時代に栄えた徳島藩の居城跡。博物館も併設されています。

→ 日和佐城:1時間15分(約50km)

② 日和佐城 (滞在:1時間)

美しい海を望む高台にあるお城。小規模ですが絶景が楽しめます。

→ 撫養城跡:1時間45分(約65km)

③ 撫養城跡(岡崎城跡) (滞在:1時間)

鳴門市にある城跡。コンパクトな観光地なので、短時間で見学可能。

→ 高松市(宿泊地):1時間10分(約70km)



徳島大学より画像提供

① 徳島城跡 鷲の門(わしのもん)



② 日和佐城



鳴門教育大学より画像提供

③ 撫養城跡(岡崎城跡)



④ 高松城跡

2日目(香川エリア)

④ 高松城跡 (滞在:1時間30分)

瀬戸内海に面した水城で、日本三大水城の一つです。

→ 丸亀城:40分(約35km)

⑤ 丸亀城 (滞在:1時間30分)

現存天守を持つ石垣が美しい城。四国を代表する名城です。

→ 川之江城:1時間(約55km)

宿泊:丸亀市



⑤ 丸亀城



⑥ 川之江城

3日目(愛媛エリア北部)

⑥ 川之江城 (滞在:1時間)

瀬戸内海を見下ろす小高い丘にある再建された城。

→ 今治城:1時間30分(約75km)

⑦ 今治城 (滞在:1時間30分)

瀬戸内海の潮流を利用した水城で、全国的にも有名です。

→ 松山城:1時間10分(約50km)

⑧ 松山城 (滞在:2時間)

四国随一の名城。天守からの眺めが素晴らしい現存城郭です。

→ 大洲城:1時間10分(約50km)

宿泊:松山市内



⑦ 今治城



⑧ 松山城





四国お城巡り



- 6 川之江城
愛媛県四国中央市川之江町1087-4
- 7 今治城
愛媛県今治市通町3丁目1-3
- 8 松山城
愛媛県松山市丸之内1
- 9 大洲城
愛媛県大洲市大洲903
- 10 宇和島城
愛媛県宇和島市丸之内
- 11 高知城
高知県高知市丸ノ内1丁目2-1

- 1 徳島城跡
徳島県徳島市徳島町城内
- 2 日和佐城
徳島県海部郡美波町日和佐浦445-1
- 3 撫養城跡(岡崎城跡)
徳島県鳴門市撫養町林崎北殿町147
- 4 高松城跡
香川県高松市玉藻町2-1
- 5 丸亀城
香川県丸亀市一番丁
- ※川島城
徳島県吉野川市川島町川島
2019年4月1日から原則として休館

4日目(愛媛エリア南部)

- 9 大洲城(滞在:1時間)
木造で復元された美しい天守が特徴的な城。
→ 宇和島城:1時間20分(約60km)
- 10 宇和島城(滞在:1時間30分)
現存天守を持つ名城で、歴史的価値が高い。
→ 高知城:2時間30分(約140km)
宿泊:宇和島市内または高知市へ移動

5日目(高知エリア)

- 11 高知城(滞在:2時間)
現存天守を持ち、城郭全体がよく保存されている四国唯一の城。
宿泊:高知市内または帰路へ

徳島エリア もう1城



※川島城 2019年4月1日から原則として休館



9 大洲城



10 宇和島城



11 高知城



11 高知城

移動手段とポイント

移動手段:基本的に車での移動が便利です。四国の交通網は高速道路が充実しており、主要都市間の移動が比較的スムーズです。

所要日数:5日間を想定していますが、調整可能です。時間があれば観光スポットやご当地グルメも楽しんでください。ご希望に応じてさらにカスタマイズ可能ですので、気軽にご相談ください!

日本各地には様々なお城があり、多くは後に再建されたものです。江戸時代から現存している天守はわずか12城しかありません。その城のうち、なんと4城が四国にあります。



弘前城(青森県)
彦根城(滋賀県)
丸亀城(香川県)

松本城(長野県)
姫路城(兵庫県)
伊予松山城(愛媛県)

丸岡城(福井県)
松江城(島根県)
宇和島城(愛媛県)

犬山城(愛知県)
備前松山城(岡山県)
高知城(高知県)

★同じ城内（高松城跡）でも様々な石垣がありました。



★お城巡りは美しい眺めも期待できます。



鳴門教育大学より画像提供

撫養城／徳島大学より画像提供

▲撫養城は、かつての阿波九城のひとつ。模擬天守のある妙見山上から鳴門の街や海が一望できます。撫養城跡の模擬天守は、現在地域防災拠点として利用されていて、土日の限られた時間に入館できます。

▲高松城天守台展望デッキからの眺め



▲丸亀城天守台付近からの眺め

編集後記

大学連携 e-Learning 教育支援センター四国 藤本 恵市

Society 5.0^(*)へと向かう中、学生の皆さんは今後さまざまなAIシステムと共生することになるでしょう。AIとうまく共生するためには、AIに使われるのではなくAIを使いこなす能力を身につける必要があります。2025年度では新たに「体験的に学ぶ生成AI」という知プラe科目が開講されますので、生成AIの活用に興味のある人は受講してみてください。

さて、今号の特集は四国のお城です。お城のシンボリック存在といえはなんといっても天守ですね。しかも江戸時代に建てられた威風堂々とした姿で現代の我々を魅了し続ける現存天守などは格別です。四国には現存天守を擁する名城が4城もあります。石垣の名城といわれる丸亀城、天守の原型といわれる望楼

型二重櫓を有する伊予松山城、空角の経始(あきかくのなわ)で有名な宇和島城、天守だけでなく本丸御殿も残る高知城、いずれも見応えのあるお城です。徳島には残念ながら現存天守のあるお城はありませんが、徳島城は湊山城と寺島城の二つのお城が合併されたという特徴のあるお城です。生成AIが提案してくれた四国お城巡りプランを参考に、各地の大名らが栄華を誇った一時代に想いを馳せる旅に出かけてみませんか。

(*)「サイバー空間とフィジカル空間を高度に融合させたシステムにより、経済発展と社会的課題の解決を両立する人間中心の社会」のこと。

e-Learning便り from四国 第8号

2025年3月24日 発行



徳島大学



鳴門教育大学



香川大学



愛媛大学



高知大学

発行・制作 大学連携e-Learning教育支援センター四国

〒760-8521 香川県高松市幸町1-1

TEL:087-832-1365

E-mail: chipla_el_info-c@kagawa-u.ac.jp

知プラe

検索

知プラeウェブサイト



<https://chipla-e.ucel.kagawa-u.ac.jp/>